

福井市 スポ少 15日再開可 3カ月半ぶり 体育館は来月から

福井市内のスポーツ少年団は15日、新型コロナウイルス感染症による活動自粛から3カ月半ぶりに活動の再開が可能となる。市教委が同日から小学校のグラウンドの使用を認めたため。体育館の使用再開は7月1日から、市スポーツ少年団事務局は「けが防止へ、当面は基礎体力づくりに取り組んでほしい」としてい

活動再開の条件として、参加者の名簿や健康状態を記録し感染者が発生した場合に保健所の調査に応じられるようにする。活動前後は手洗いやうがいを行い、器具類を消毒する。活動再開から3週間ほどは対外試合や合同練習を自粛し、接触を伴う活動も当面避け

を払ってほしい」として、市内では公立中の部活動も15日に再開する。8、9日の市会一般質問で田中義乃議員(新生ふくい)らが取り上げた。

市内では公立中の部活動も15日に再開する。8、9日の市会一般質問で田中義乃議員(新生ふくい)らが取り上げた。(小林真也)

事務局は「子どもにいつまでも活動を自粛させるのはかわいそうで、早く体を動かさせてあげたかった。体力が低下しており、指導者はけが防止に細心の注意

事務局は「子どもにいつまでも活動を自粛させるのはかわいそうで、早く体を動かさせてあげたかった。体力が低下しており、指導者はけが防止に細心の注意

新型コロナウイルス感染症関連

に質問内容を限った福井市会の一般質問は8、9日、会派の代表者ら9人が経済や教育、情報発信といったさまざまな観点で市側をた

「質問が重複する」ということは、それだけ重要な課題と「この見方もあるが、見谷喜代三議長は「重複した場合は角度を変えて質問し、違う答弁を引き出す工夫が必要だった」と指摘。論戦自体は「あらゆる分野で質問しており良かった」と評価したものの、与えられた質問時間を半分近く残した議員も複数おり、「コロナ

質問重複 論戦に物足りなさ

取材ノート

関連の質問を集中して行うことで通常の議会より中身が濃くなる」とした堀川秀樹前議長の思い通りにはならなかったように思う。

感染防止のため議員が集まる機会を減らそうと会期を短縮して、一般質問の質問者を会派の1〜2人に限り、無所属議員の質問機会を制限した今回の市会の決定について、福井弁護士会憲法委員会の島田広委員長は、個人の見解として「多様な民意を反映させるという『地方自治の本旨』に反する」と憲法違反の疑いを指摘する。質問をコロナ関連に限ったため、会期前に示された小中学校の分割、統合案をはじめ他の市政課題は議論されなかった。市会は今回の一般質問の在り方を検証し、次回以降に生かしてほしい。

(小林真也)